



明けましておめでとうございます。調布市剣道連盟会長宮田です。

今年も、西調布体育館での元朝稽古で心地良い汗を流し、1年が始まりました。お正月三が日を自由に使える西調布体育館は非常にありがたい、貴重な施設です。幸いにも？高速道路の工事着工が延びているようで、来年度も継続して使用できそうです。

私の年頭の挨拶も今回で6回目となります。今年が最後となります。今年の3月末には、任期の3期6年を満了し、会長を退任いたします。これまでの会員の皆様のご協力に、改めて感謝いたしますとともに、4月にスタートします新体制への更なるご支援をお願いしたいと思います。

さて、昨年も、調布市剣道大会、剣道研修会、市民スポーツ祭、各昇級、昇段審査会、少年部合同強化稽古等、年間計画に沿ってすべての行事を滞りなく実施することができました。各行事へご協力頂きました会員の皆様に心から御礼を申し上げます。

そして、今月には、「調布市剣道連盟創立70周年」を迎えます。現在、実行委員会で最後の詰めを行っておりますが、以前の理事会で検討を行い、昨今の情勢を鑑み、従来のように外部から来賓を招いて大々的に行うのではなく、内々で喜びを分かち合う方向としております。周年行事は、前回の60周年から10年ぶりとなります。今回、記念誌をホームページ上で公開する予定ですが、前回から10年間の振り返りを、その巻頭言に書きましたので、時間のある時にでもご一読いただければと思います。そして、

1月18日（日）には、記念式典（懇親会）を実施いたします。これまでの剣道連盟の歴史を振り返り、楽しい「交剣知愛」の場としたいと思います。

話は変わって、恒例の干支ネタですが、今年は午年です。十干（じっかん）と干支の組み合わせでは「丙午（ひのえうま）」となります。「丙午の年に生まれた女子は気性が激しい」ということから、昔は丙午の年に子どもを産むことを避けたり、丙午の年に生まれたことを隠したりといったことがあったようです。これは、過去の丙午の年には天災が多かったことや、江戸時代に放火で処刑された「八百屋のお七」が丙午生まれであったことに由来するとされ、実際に前回の丙午の年（1966年）には前後の年に比べて出生率が低いなどの影響があったようです。ただ、これはあくまでも迷信であり、ただでさえ少子化が進んだ現在で、あまり気にする人はいないと思います。

一般的に「丙午」がどんな年になるかというと、丙（ひのえ）は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午（うま）は、古くから人間とともに生きてきた動物であり、駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午（ひのえうま）の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると

考えられます。ということで、調布市剣道連盟も、4月からは新体制がスタートすることもあり、これまで以上に、活気の満ちた、素晴らしい団体となっていきますことを願っています。

末筆ではございますが、会員の皆様とご家族の、今年1年のご健勝とご多幸を祈念すると共に、皆様の剣道がより充実されますことを期待いたします。

『剣の道遠し ただ修行あるのみ』

本年もよろしくお願い致します。